



包装紙で制作した紙人形 入野多賀子さん作

富士のすそ野のかぐや姫 「光輝く出会い」

富士に伝わる、かぐや姫伝説。
竹取りのおじいさんが、

いつものように竹やぶに行つたところ、

どこからともなく聞こえてくる、赤ん坊の泣き声。

ふと足元を見ると、光輝く切り株の中に、

何と、かわいい赤ん坊が。

おじいさんとおばあさんは、この子をかぐや姫と名づけて

大事に育てたそうです。

このかぐや姫の誕生から別れまでを、

包装紙でつくつた紙人形で表現。

この「光輝く出会い」は、全十場面のうちの二つ。

おじいさんが、かぐや姫を大事に抱いています。

いらなくなつた包装紙を、上手に再利用したこの作品。

包装紙とは思えないような味わいが、この作品の魅力です。

- 2~10 特集
紙の街富士市だからこそ
紙を大切にしたい
- 11 年末の交通安全県民運動
- 12 10月のできごと
- 13 オーシャンサイド ナウ
- 14~17 暮らしのたより
- 18 12月のカレンダー